



鳥取県立倉吉東高校同窓会

関西鴨水会会報

第 8 号

発行人 山本康夫

関西鴨水会会員の皆様へ：関西鴨水会会長 山本康夫

日頃より会員の皆さまには多大なるご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。本年は昨年を上回る方々のご参加を得て、関西鴨水会総会・懇親会を盛大に開催できました。当日の様子を本会報にてお届けしますのでご一読いただければ幸いです。

今秋、倉吉を舞台にした映画『遙かな町へ』が全国公開されます。子供時代、学生時代の記憶が蘇ってくるのではないのでしょうか。ぜひご覧いただければと思います。

今年から総会・懇親会へご参加いただきやすくなるために、経費削減策を役員会で議論した結果、会報の作成費用などを大幅に削減することができ、男性会員の参加費用を1,000円減額させていただきました。来年は今年を上回るご参加をお待ちいたします。

経費削減に努めてまいります一方で、安定的な財

源確保のために会員の皆さまにはご寄付をお願いいたしております。会費納入時にご寄付を拝受いたしておりますので、何卒ご支援賜りたくお願い申し上げます。



ところで、関西鴨水会の現有会員は129人と昨年よりも約20人減となりましたが、幸いにも今年度に4人の新入会員をお迎えできましたことは、若年会員の増加に光明が見え始めました。今後の会の運営を考えますと、会員の増大が喫緊の課題ですので、会員の皆さまに心当たり(ご家族・ご親戚・ご友人のお子様やお孫様などで関西在住の方)がございましたら、ぜひご一報いただきたくよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆さまの益々のご健勝をお祈り申し上げます。

◆今年度関西鴨水会総会・懇親会の概要

関西鴨水会総会・懇親会が6月21日(日)、大阪市中央区・道頓堀ホテルにおいて開催され、来賓と会員とで合わせて51人が出席しました。その概要を以下にご報告します。

総会に先立って、「公開間近～倉吉を舞台にした映画『遙かな町へ』撮影秘話」と題して、映画制作にあられた映画監督 錦織良成氏、プロデューサー 安川唯史氏、倉吉ニューシネマプロジェクト代表で株式会社バルコスの代表取締役でもある山本敬氏(昭60)よりご講演いただきました。

『遙かな町へ』は、鳥取市出身の漫画家・谷口ジローが1998年に発表した漫画で、2009年に舞台化、2010年にフランスで映画化されています。日本では昨年8月に錦織監督のメガホンでクランクイン、今年10月9日(金)に全国公開される予定です。詳細は2面の講演要旨をご覧ください。

総会では「2025年度収支決算」が承認された後、ご来賓を代表して、藤井武親・鴨水同窓会長(昭49)、三谷徳彦・倉吉東高校長(昭59)、広田一恭・倉吉市長(昭52)のお三方よりご挨拶を頂戴しました。

ほかのご来賓としては森本誠人・鳥取県関西本部長、西谷友香里・大阪鳥取県人会長、小林淳・東京鴨水同窓会副会長(昭53)、前田幸広・野球部後援会長(昭57)、藤井拓也・倉吉市経済観光部長(昭63)、岡野宏治・(株)新日本海新聞社大阪支社長にご臨席いただきました。遠方より、またお忙しい中、ありがとうございました。

みなさんお待ちかねの懇親会は、初参加・お久しぶり参加の阪上(中井)順子さん(昭41)、赤本正憲さん(昭50)、笹子(桑田)智子さん(昭53)、松村薫さん(昭53)、朝倉千里さん(平24)を紹介した後、最年長の入江義雄さんと村岡志朗さん(昭27)による乾杯のご発声に始まり、瞬く間に談笑の輪があらこちらで広がりました。歓談の途中、倉吉市より寄贈された特産のスイカの解体ショーが藤井倉吉市経済観光部長の見事な包丁さばきにより執り行われ、出席者全員が瑞々しく美味しいスイカを賞味しました。そして、三谷校長のリードにより全員で倉吉東高校歌を斉唱。最後は三好修二さん(昭36)による中締めが行われ、次回の再会を約して散会しました。

◆講演会:「公開間近～倉吉を舞台にした映画『遙かな町へ』撮影秘話」

映画監督 錦織良成氏、プロデューサー 安川唯史氏、
倉吉ニューシネマプロジェクト代表 山本敬氏(昭60) (株式会社バルコス 代表取締役)



映画パンフレット



錦織監督



安川プロデューサー



山本代表

この映画の原作は、鳥取市出身の漫画家・谷口ジローが1998年に漫画誌「ビッグコミック」で全16話にわたって連載したものです。

1998年(平成10年)、48歳の建築デザイナー・中原博史は、出張先の京都で酩酊し、帰りの列車を乗り間違えてしまった。その列車は、幼少期を過ごした倉吉へ向かう「スーパーはくと」であった。この際、彼は二十数年前に亡くなった母親の墓参りに行くことにした。墓前で眩暈に襲われた中原博史は、14歳の自分にタイム・スリップしてしまう。それは、彼の父親が蒸発する4か月前の世界、東京オリンピックの開催を翌年に控えた1963年(昭和38年)であった。14歳の中学生に戻った主人公は果たして、父親の蒸発を止めることができるのだろうか、元の世界に戻ることができるのだろうか、物語が展開していきます。これ以上の説明は「ネタバレ」になってしまいますので、映画館でどうぞご覧になってください。

映画には倉吉の懐かしい景色がふんだんに盛り込まれ、倉吉の人たちが数多くエキストラ出演していることから、この映画を初めて観た人はその景色や写っている知り合いに気を取られてストーリーが頭に入っていないことは大いに予測できるので、少なくとも3回はご覧になっていただきたいと思います。

映画の制作にあたっては、倉吉市や倉吉の人たちの全面的な協力を得ることができて大変感謝しています。白壁土蔵群の前の道路のアスファルトを重機で剥がしていただき、昭和38年の雰囲気を出すことが

できました。役者に対する倉吉弁の指導も桑本裕二さん(2年前の関西鴨水会でご講演いただきました)らのご協力を得、かなり自然な倉吉弁になっています。橋津の海水浴場では小中学生を始め、多くの市民のみなさんが当時のデザインの水着を着て出演してくださいました。

この映画には当時のゆったりとした時間の流れ、懐かしい風景、倉吉の人たちの温かさが映し出されていますので、10月9日からの全国公開に期待していただければありがたいです。



日本海新聞(2025年9月11日付)より

※映画『遙かな町へ』の情報は公式ホームページ:<https://harukanamachie.jp/>に随時掲載されますので、右の二次元コードを携帯電話などで読み取ってご覧ください。



◆ご来賓を代表して次のお三方にご挨拶をいただきました



鴨水同窓会・藤井会長



倉吉東高・三谷校長



倉吉市・広田市長

◆総会後に全員で記念撮影



みなさん笑顔が素敵ですね！

◆懇親会

●乾杯前にテーブルごとに記念写真



来賓のみなさん



来賓、昭和27年・平成24年卒のみなさん



昭和30・34・36年卒のみなさん



昭和38・39・41年卒のみなさん



昭和43・47・49年卒のみなさん



昭和41・50・51年卒のみなさん



昭和53・55年卒のみなさん



初参加・お久しぶり参加のみなさん

●乾杯！ 入江義雄さん、村岡志朗さん(昭和 27 年卒)



●スイカの解体ショー：藤井倉吉市経済観光部長

倉吉市よりご寄贈いただいたスイカを藤井さんが綺麗に切り分け、みんなで美味しくいただきました。



●グラウンドゴルフ世界大会の紹介：新川貞敏さん(昭和34年卒)



グラウンドゴルフはシニア世代を中心に多くの愛好家がおられますが、来年5月に開催される「ワールドマスターズゲームズ2027関西」にグラウンドゴルフ競技が組み込まれることが決まりました。IOC(国際オリンピック委員会)が公認する国際総合競技大会に、グラウンドゴルフが登場するのは異例のことで、しかも会場は発祥の地・湯梨浜町です。

※詳細は「湯梨浜町 グラウンドゴルフ ワールドマスターズ 2027」で【検索】してください。

●三谷校長のリードで校歌を大合唱



明けゆく空に 打吹の
輝く峰を 仰ぎつつ
高き理想の 学舎に
もゆる希望と 純潔の
光を受けて こぞり咲く
花なり 若き 友われら

●三好修二さん(昭和36年卒)による中締め挨拶



関西鴨水会発足当初の歩みから、これからの同窓会の在り方について、力強く語られました。

来年の総会・懇親会は、
・日時：6月20日(日) 11時
・場所：道頓堀ホテル
での開催です。
奮ってご参加ください！

【1号議案】 2025(令和7)年度 関西鴨水会収支決算書 自 2025(令和7)年4月 1日
至 2026(令和8)年3月31日

2026年度 役員
(敬称略)

項目	金額(円)	内 容
前年度繰越	656,576	
収入の部	年会費	192,000 2000円×96名
	総会会費	243,000 男性29名：203,000円、女性8名：40,000円
	寄付	103,000 来賓9名、会員5名
	雑収入	961 銀行利息
	計	538,961
支出の部	会議費	332,325 総会費311,925円、役員会補助費(1回)20,400円
	通信費	28,300 郵送料(総会案内、会報等発送料)
	文具・事務費	20,016 総会返信用はがき代、宛名シール、プリンターインク代
	運営費	112,536 講演謝礼、東京・東海鴨水会総会参加費・交通費・宿泊代、東高ラグビー部花園出場援助
	印刷費	25,204 会報印刷(プリントパック7,470円)、長3封筒印刷(11,550円)、コピー代
	その他	1,100 振込手数料
	計	519,481
差引残高(次年度繰越)	676,056	

役職	氏名	卒年
会長	山本 康夫	昭和50
副会長	堀尾 雅俊	昭和50
	陶山 哲也	昭和51
幹事	松田 由美子	昭和51
	市橋 清美	昭和53
	安田 浩章	平成14
会計幹事	木山 智道	昭和50
会計監査	佐々木 進	昭和47
	仲倉 由紀子	昭和47

関西鴨水会の活動や会報は鳥取県関西本部のホームページからご覧になれます。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/38500.htm>



みなさんから近況報告をいただきました（出欠連絡ハガキ、メールより）

卒業年	氏名(旧姓)	近況報告
昭和27	入江義雄	「遙かな町へ」のお話を期待しております。
昭和27	西村憲一	永い間、お世話になりました。寄る年波で参加できません。同期は毎年参加者が多く楽しい思い出が一杯です。村岡、平田両兄とは、許せばお別れ会をしたいと思います。
昭和27	松本(斉木)美智子	満92才、何とか元気です。打吹山の麓の倉吉教会でキリスト教の洗礼を受けてから70有余年。今でも日曜日には教会へ皆勤です。
昭和28	神崎和則	高齢のため、現在老人ホームに入居。今後の参加は辞退します。(長男代筆)
昭和28	西村謙之助	腰痛のため長時間の歩行困難となり出席できません。総会の盛会と同窓皆様のご健勝を祈念します。
昭和30	牧田(芝野)幸恵	4月に骨折したので車椅子で出席します。介助人として娘が同席します。
昭和33	枇杷紘一郎	お世話様です。よろしく！
昭和34	音田克幸	体調の具合で外出を控えており「退会」します。お世話になった皆様方に感謝いたします。
昭和35	岩村 功	年令相応に生活しています。今のところ。妻の体調悪いし。
昭和36	音田武敏	相変わらず元気に過しています。高齢者免許更新講習も済ませ、これからの3年間を安全運転を心がけていきます。水泳・GOLFも身体のもつ限り継続します。
昭和36	鳥越健治	84才になり外出がおっくうになってきましたので、失礼させていただきます。
昭和37	山根和弘	呆け防止の一助になればと思い、月一ゴルフを楽しんでおります。
昭和37	山根敏彦	元気にしてますが83才になり外に出るのがつらい！皆様によろしく。
昭和38	松田(船越)賢一	昨年12月の倉吉中部会総会で会長を辞任、今年5月の鳥取県人会総会で副会長に就任しました。
昭和39	山本幸正	同窓会名簿を覗き、頭上が年々涼しくなりました。時の流れには逆らえないようです。
昭和40	光田恵美子	お世話になりありがとうございます。お店の手伝いをしながらがんばっています。今が一番元気です。
昭和41	原 長生	病院通いの日々。大阪市教職員退職者会相談役の他は退任しました。
昭和43	岡本美都夫	2018年にUターンしました。久しぶりに出席させていただきます。楽しみです。
昭和43	穀内(安梅)純江	故郷へは年に1回お墓参りで帰っています。
昭和45	山本公二	盛会をお祈りいたします。マイペースの生活で、実家の管理のため時々倉吉に帰っています。
昭和49	芦崎幸弘	今年の3月末をもちまして、70歳で現職場を卒業しました。これからは今までできなかったことに取り組みたいと思います。
昭和50	細川(市川)京子	今秋は「遙かな町へ」が公開されますね。来年は映画の話題で盛り上がるのを楽しみにしています。
昭和50	赤本正憲	自宅のある高槻市を離れて21年、ようやく戻って来ました。
昭和50	村岡 一	昨年、高齢者大学に入学し、グラウンドゴルフも始めました。
昭和50	堀尾雅俊	毎日が日曜日ですが、元気に暮らしています。
昭和50	木山智道	返信遅くなりました。いつも段取り有難うございます。宜しくお願いしますね。
昭和51	岩佐智世子	今でも好奇心いっぱい。その源はあの時培った倉東精神!!
昭和51	長江靖栄	お世話になっております。返信が遅くなって申し訳ありません。
昭和53	高田正彦	イオン吹田店で SMオペレーションを担当してます。
昭和53	市橋清美	タクシー乗務員2年目、外国人をターゲットにして、楽しんで乗務しています。
昭和53	松村薫	ずっと関西にいながら本総会初参加。次年度以降は、出来るだけ参加したいと思っています。
昭和53	中村清子	いつもありがとうございます。講演内容が面白そうですね。
昭和53	野嶋孝次	お手数をおかけします。
昭和55	達可(完井)誠子	働きながら、ボランティアでおやこ劇場の活動をしたり、趣味のコーラスや健康体操など楽しんでます。
昭和55	堀尾和俊	サラリーマン生活は残すところ一年余り。相変わらず元気にしております。
昭和56	根津まり子	幹事の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。次回、お会いできることを、楽しみにしています。
平成4	朝倉啓太	皆様にお会いできず残念ですが、同窓会が楽しい会となりますようお祈りしております。

◆編集後記

「故郷への誇り」をキーワードとした映画『遙かな町へ』の制作秘話を聞き、10月の公開への期待が高まりました。初参加者4人を迎え笑顔いっぱいの楽しい会の様子をみなさんにお届けしたくて、紙面を2面増(費用は微増)。これからも役員一同衆知を集め、楽しい会となるよう努めてまいります。(陶山哲也)